

## 就学前施設再編説明会 （南幼稚園）

---

場 所：南幼稚園

日 時：平成30年6月16日（土）10時00分～11時50分

参加者：16名（就学前児童保護者9名、その他7名）

質疑等：

質問1 南部こども園・伊丹幼稚園の3歳児定員が、20名・30名になった理由を教えてください。

回答1 ありおか幼稚園が存続することで、南部こども園・伊丹幼稚園から5名ずつを移し、ありおか幼稚園を10名としました。また、ありおか幼稚園での説明会で申し上げましたが、伊丹・ありおか幼稚園の合計で、3歳児30名という募集方法にする考え方があります。この30名は、伊丹・ありおか幼稚園のどちらかを選択していただくこととなります。

質問2 伊丹・ありおか幼稚園の定員は決まっておらず、2園の合計で30名と言うことでよいのか。例えば、ありおか幼稚園が8名の入園があれば、伊丹幼稚園は22名まで入園できるのか。南部こども園よりも伊丹幼稚園のほうが入園しやすいのではないか。

回答2 ありおか幼稚園の応募者が10名未満であればそのようになります。反対にありおか幼稚園の人数が増えるということも考えられます。

質問3 市民への情報提供が少ない。3歳児の定員は、実際に募集してみないとわからないと言うが、南部こども園20名・ありおか幼稚園10名・伊丹幼稚園20名は、他のブロックに比べて多いほうなのか。ニーズ調査の結果、公立幼稚園への希望が多ければ、定員を増やすことは可能なのか。

回答3 3歳児定員は32年度250名と計画しています。当初、100名ほどの定員を考えていましたが、全園で3歳児保育を実施することになり250名で設定しています。今年の冬のニーズ調査の結果で、公立幼稚園の募集人数を増やすということになれば、職員を増やして配置することになります。

質問4 ニーズ調査の具体的内容を教えてください。

回答4 子ども・子育て支援計画の見直しに利用するもので、幼稚園・保育所

のニーズ把握に活用しながら、今後の施設配置計画を立てていくこととなります。

**質問 5** これから幼稚園や保育所に入るすべての保護者にアンケートを実施するべきではないか。

**回答 5** 現在、就学前施設に通っている子どもの数と3歳の在宅の子どもの数を加味し、現状のニーズ予測のもとで定員設定をしています。

**質問 6** ニーズ調査の規模を教えてください。

**回答 6** 対象者は約3000人となります。統計上、この数字で判断できるとされています。

**質問 7** 3歳以下の子どもがいる家庭への全件調査はできないのか。

**回答 7** 調査対象者がわかる調査をすればバイアスがかかることもあり、一般的には誰が答えるのかわからないという状況の中で実施することで、正確な把握ができると考えます。

**質問 8** もう少し個別相談会をこまめに実施してもらう中で、調査できないか。

**回答 8** 3歳児保育は32年度からの開始であるため、調査方法を検討します。

**質問 9** 閉園時期は、いつ、どのように決まるのか。私立幼稚園の抽選に外れたから南部こども園に行こうと思っている人と、最初から公立幼稚園に行こうと思っている人が同じということは不公平だ。

**回答 9** 閉園は平成31年度末とし、南部こども園の開園は平成32年4月を目指していることから、現在、南部こども園の設計にかかる予算をお認めいただいて、設計を行っています。ただ時期につきましては、規則で決まりますので、31年度末というのは、あくまでも計画となります。

**質問 10** 南西部こども園が34年度からということは、32年度に南西部こども園のブロックの子どもが3歳児から通いたければ、どの園に通うことになるのか。Fブロック内の幼稚園より南部こども園のほうが近ければ、南部こども園を選択できるが、その抽選に外れたら、南部こども園には通えないのか。さきはら幼稚園分だけ南部こども園の定員に加味することはできないのか。

**回答 10** こやのさと・せつよう幼稚園を選択するか、私立幼稚園を選択するこ

とになります。現在、ブロックを超えて応募できる人は、閉園となる園の小学校区の子どもになります。ブロックを超えて応募される方がどれほどいるのか把握できないこともあり、定員設定はブロックごとに決定することとしています。地域により優遇することはできないものと考えています。

**質問 11 南幼稚園を廃園にして南部こども園をつくるのに、南部こども園に入園できないのか。**

回答 11 現状の子どもの人数から判断すれば、南部こども園に入園できると思いますが、不確定要素である国による3歳児の無償化の実施等で、3歳児の定員が足りないということになれば、対策していきます。

**質問 12 この説明会の周知方法を教えてほしい。**

回答 12 南幼稚園での掲示や子育てアプリでの配信となります。今回は2回目の説明会であり、広報紙には掲載していません。5月の1回目の説明会については、広報紙でお知らせしています。

**質問 13 来年、こばと保育所に預けたら南部こども園に行けるのか。電話で問い合わせると、新こばと保育所か南部こども園かを保護者に選択してもらうと言われた。3歳児20人の定員の中で、こばと保育所の子どもは、親が選べば必ず南部こども園に通えるのか。**

回答 13 20名定員は幼稚園部分の定員になります。保育所部分は別です。新こばと保育所か南部こども園かを保護者に選択していただくことになり、その後、まだ枠があれば希望者に入所していただくこととなります。

**質問 14 西保育所で、いま0歳児の子どもは、西保育所で卒園できると保育課で言われたが、通えないのではないか。**

回答 14 今の0歳児・1歳児は南西部こども園に移っていただくこととなります。

**質問 15 南部こども園の着工日や設計図が決まっていると、定員を増やすことができないのではないか。**

回答 15 保育所部分の定員については、今後も保育ニーズが増える見込まれ、西・桜台・こばと保育所の老朽化という課題をかかえるなか、こども園にすることで設備面やサービス面での課題解決につながり、民間保

育所も含め市全体で解決していくことにしています。幼稚園部分の定員については、計画の中に記載している人数で計画しています。ただ、こども園は、保育所部分が増え、幼稚園部分が減れば、保育所部分に定員をまわせる制度となっていますので、この制度を活用していきたいと思っています。

**質問 16** 南部こども園の全体人数は変えないということか。ニーズ調査はどのような意味があるのか。

回答 16 全体の規模は決定していますので、全体人数は変えません。ただ、1クラス25名という定員があるため、南部こども園の定員は20名ですが、25名定員の教室にしておくという考えはあります。

**質問 17** 1月に開催された伊丹ホールでの説明会で、こぼと保育所は民間にとのことだったが、臨時会で公立での運営に変わった。当時、公立で運営すると経費がかかるためという理由だったが、何故すぐに公立での運営に切り替わったのか。

回答 17 市としては、同じ経費をかけるならば、民間のほうがより良いものになるため、稲野公園に整備する保育所は民間でお願いすることにしていました。市が提案させていただいた内容を、議会が修正案として提案し議決されました。

**質問 18** こども園説明会の中に、PTAに関することも含まれているのか。PTAのこと等の内容を先に公表してもらえると、こども園ではなく保育所を選択することもあると思う。

回答 18 ソフト面の内容については、保育所・幼稚園の先生のワーキングで検討しています。PTAのことについても、今後検討していきます。神津こども園では、開園当初、PTAと保護者会が別々に設置されましたが、現在は一緒になり、それぞれできる範囲で役割分担をしており、親同士の溝は無くなりつつあると伺っています。

**質問 19** 来年、3歳児保育がある公立幼稚園を教えて欲しい。

回答 19 3歳児保育については、32年度からの実施になります。プレ保育については、3歳児の子どもと保護者の親子登園になり、今年から伊丹・おぎの幼稚園で先行実施しています。来年度もこの2園での実施を予定しています。